



今年度を振り返って

十勝組々長
立教寺 千葉照映

十勝組だより

題字揮毫
妙覚寺住職
脇谷 晓暢 氏

平成二十九年度に於きましたも各部それに目標を立て諸活動・研修会を執り行つた報告を頂きました。厚くお礼申し上げます。

三月末にて上半期を終え、新たな気持ちで後一年下半期に突入したいものであります。十勝組に於ける今年度の重点プロジェクトは、「戦後世代への伝道」の一つを掲げさせていただきました。災害支援に付きましては、一昨年と同様に組内皆様方にご協力頂き、昨年十月に福島県にあります児童養護施設アイリス学園に沢山の野菜・食料品・日用品等を送らせて頂きました。同施設では現在三歳から十八歳までの子供四十二名のうち六割が中学・高校生であり正に食べ盛り、北海道の野菜は本当に有り難いとお礼の言葉を頂いております。

戦後世代への伝道に付きましては、正しく仏教壮大年会の世代であります

が、単位結成には至つておりません。今年五月には結成三十周年ということで記念式典に向けて役員一同ご尽力頂いているところであります。桃井直行氏は白木組長の時から庶務を担当され、その仕事ぶりは誰もが感服するところで、『スイパー副組長』と呼ぶに相応しい方です。

新しく就任された三浦敬信氏は会計を担当され、2年経ちましたが、その几帳面な性格は一円の間違いも許さない『鉄壁な金庫番副組長』であります。

前任者が会計担当であつた千葉組長も安心しています。

そんな副組長三人の中、『名ばかりの副組長』である私ばかりが大変心苦しく思っています。

しかし、十勝組規約第7条(役員の職務)に



二期目となる千葉組長体制に、図らずも副組長に再任されました。

（組会・総会は議長を立てます）の議事進行をすること位で、他にこれといった仕事はしていなく、まさに『名ばかりの副組長』です。

十勝組副組長

光教寺 岩崎教之

名ばかりの副組長です

十勝組副組長

光教寺 岩崎教之

今年も皆さん

— 生懸命に企画し て頂いています。

— 生懸命に参加し、一生懸命に聴聞し

— 生懸命に生かさせて頂きたいものです



私はできることは、
組長事故ある時は、
組長の職務を代行し…
と、重大な任務が書かれています。
どうか後二年千葉組長に
事故がないことを願うばかりです。

お願いし小児往生と追善回向について
ご講演を頂いた事であります。

平成三十年度に於きましても、
それぞれの行事・研修会等に
ようお願い申し上げます。

2017 十勝組仏教婦人会各支部大会

(2) 第36号 十勝組だより 2018(平成30)年4月30日

2017 十勝組仏教婦人会各支部大会

開催日 六月十六日
会場 芽室町 寶照寺
参加者 一二四名
講師 真淨寺永田弘彰師
講題 (お念佛の喜びに生きる)
今年は通常布教のほかに、午後からは一般講師として、芽室町清末有二氏と発達障害のある子と歩む二名のお母さんをご講師に迎え、私たちが身近にある障害とどう向き合い、支え合いとなるかでお育ていただきました。この大切さを学びました。

会場では終日パンの販売やお昼のレクリエーションでは、町内の授産施設九神ファームの職員のみなさんにも参加していただき、ジヤガイモの皮の早むき競争も行われ、とても有意義で楽しい支部大会となりました。

この度のご縁は、伝灯奉告法要の記念テーマをもとに開催させていただきました。

音楽法要にて開会し、ご講話の中で、聴聞の姿勢によつて味わいが深まり、お聞きしたことをお家族に話すことによって教えが生活の中に活きてくる喜びを伝えていくことの大切さを話された事が心に響きました。又、大正琴の講師による「演奏トリトミック」は、賑やかな楽しい交流が出来ました。仏婦会員一人ひとりのご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

合掌

開催日 六月十六日
会場 札内 義教寺
参加者数 (百二十六名)
講師 小林義教師 (空知北組)
講題 (御聴聞の整理・整頓)
研修テーマ (うけつぐ伝灯伝えるよろこび)

この度のご縁は、伝灯奉告法要の記念テーマをもとに開催させていただきました。

音楽法要にて開会し、ご講話の中で、聴聞の姿勢によつて味わいが深まり、お聞きしたことをお家族に話すことによって教えが生活の中に活きてくる喜びを伝えていくことの大切さを話された事が心に響きました。又、大正琴の講師による「演奏トリトミック」は、賑やかな楽しい交流が出来ました。仏婦会員一人ひとりのご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

合掌



下り銀河線支部

上り線支部

士幌線支部

拓殖線支部

広尾線支部



日々に晴れ上がった一日、久々に晴れ上がった一日、士幌線六ヶ寺より集つた法友と共有に有難いご縁に遇いました。津別町よりお招きしたご講師は、米国での開教使生活や自坊の子ども会での関わりで感じた思いを熱く語りました。午前午後とお聴聞三昧の尊い一日、心に沢山のお土産を戴きました。

合掌

十勝組仏教婦人会支部大会
・支部名 (士幌線)
・開催日 (六月十六日)
・会場 音更町 光明寺
・参加者数 (七十名)

・講師名 (松平範慶師)
・講題 大いなる願いに気づかせて



午前中は、講師による
(エンディングノート)
題材として、ご講義をいただきました。最近よく耳にするワードを通して興味深く聞かせていただきました。昼から、総会を行い次年度の宿寺等の確認がなされました。

その後、法念寺住職の進行により抽選会が行われ、楽しいひとときを過ごしました。

合掌

開催日 六月十六日
会場 鹿追町 玄誓寺
参加者 七十八名
講題 (いつも一緒に開扉)
仏婦による開扉
献花献灯で開会式が始まり全員で讃仏偈を唱和。総会では1年間の行事、会計報告がありました。

その後タイトルのと題して午前午後とご法話を聴聞。昼食には手作りのお斎を頂き、アトラクションの踊り、ゲームを楽しみ、深く交流出来た一日でした。

合掌



開催日 四月十四日
会場 中札内村 法念寺
参加者 九十五名
講題 (今、ここにある、しあわせ) (エンディング
ノートと浄土真宗)

講師 音更町 妙法寺副住職
石田智秀師
講題 (今、ここにある、しあわせ) (エンディング
ノートと浄土真宗)

札内スマイルパークゴルフ場にて午前八時半に集合。札内義教寺仏壯担当のもと参加者四十七名の方が楽しく競技されました。終了後フードスタジアムにて懇親会が催され戦績を振り返り乍ら和気藹とすごされました。その中で東日本大震災の助け合い募金をして下さり、有り難う御座いました。来年度は十勝組仏壯創立三十周年に当たり会員一同力を合わせて迎えたいと思つておりますのでご協力宜しくお願ひ致します。



仏壯パークゴルフ大会

東西交流ソフトボール大会

夏の寺族婦人会



音更中央公園にて
東西交流ソフトボール大会に
ソフトボール十九名
懇親会二十七名
青年僧侶協議会のメンバーも参加の
もと開催されました。小雨の降る中で
したが、最初混合チームで試合をし、
次にお待ちかね
(お西対お東)で行なわれました。
お東チームの特大ホームランがあつ
たりで白熱した展開となりました。
結果はなんと久しぶりに、
お西チームが勝ち無事に終える事が
出来ました。
その後、懇親会にて、お互いの懇親を
深めあいました。



寺族婦人会 夏の研修会は
帯広別院にて仏教講演会に
参加させて頂きました。
今年から『公開講座』
と改名され今まで以上に広く多
くの方に参加してほしいとの事
です。
寺族婦人会からも数名参加し、
立川談吉氏による
落語を聞きました。
仏法を聞いている
本堂に落語を聞きに
老若男女が集まり、
笑い声が響いた
いつもと違う
本堂になつていきました。





十勝組の実践運動は、昨年度までと同様に、重点プロジェクトをはじめ、各部それぞれの活動が活発におこなわれることで、着実に実践されております。ご理解・ご協力、本当にありがとうございます。

重点プロジェクトの活動としては、十月に組内各寺院から支援物資をひろく募り、十八日に被災地に向けて発送できました。ご協力ありがとうございました。

その他、三役主体の行事としては、龍谷教学会議北海道支部大会と併催で十勝組僧侶研修会を三月一日に、翌二日に聞法の集いを実施すべく各方面と協力・準備しておりましたところ、当日は全道的に季節外れの豪雪に見舞われ、大変な天候となりました。それにより茨城県からお迎えする予定だった相馬一意和尚の来勝が叶わぬこととなり、急遽、龍教北海道支部長の北塔光昇和上にご講義をお願いし、僧研は実施できました。しかし、「一日の聞法の集いは、参加者の安全面に考慮し、中止」といたしました。

開催に向けご尽力くださった方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。また、突然の無理なお願いに応え、大変に興味深く有意義で示唆に富むご講義をしてくださった北塔和上、ありがとうございました。

これらをふまえつつ、変則的ながら、四月一十四～一十六日には僧侶研修会と聞法の集いを、富山の藤島秀天先生をお迎えして開催する予定です。組報刊行の頃でしょか。

意義深い僧研・集いとすべく尽力いたします。重ねて、

ご協力ありがとうございます。

二〇一八年度の実践運動は、宗派・教区ともSDGsからの「貧困対策」を軸に模索することとなります。十勝組も明確なビジョンは未だ描けておりませんが、御門主様がお示しくださった「念佛者の生き方」を身心に体して進めていきたいと思つています。引き続き、さまざまにご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。



十勝組では東日本大震災発生以降、六年間にわたり、「被災地の声を聞くツアー」を企画し、被災地を訪れてまいりました。そのご縁の中での支援活動は、昨年二月の福島県南相馬市内で営まれた、七回忌法要の炊出し支援をもつて終了しました。しかしながら今も尚、沢山の方々が不安や不自由な生活を余儀なくされています。被災地への様な支援が出来るかを、平成二十九年度も模索してまいりました。

その結果、十勝組の組織力を活かした支援物資の発送と、お茶会用に十勝の銘菓を送らせて頂くことが私達に出来る、また現地の方々からも望まれる支援であるという結論に至った次第であります。

支援物資の発送においては昨年十月に、組内各寺院から沢山の野菜類や食料品、日用品のご提供を頂き、梱包後段ボール箱二十個分の物資を発送致しました。発送先は平成二一十八年よりご縁のある、福島市の児童養護施設アイリス学園です。食べ盛りの幼児から高校生まで約五十名近くが寝食を共にしており、物資到着後には園長さんより「大変に有難い送り物でした」と、お礼を頂きました。

お茶会用のお菓子の発送に関しては、昨年は五回にわたり送らせて頂きました。仮設住宅で生活する人々の、束の間の安らぎであるお茶っこ（お茶会）。また、原発事故の放射能汚染を心配する子を持つお母さん達のサークルへのお菓子の提供は、不安や辛い現実の中でお母さん達の心を少しでも慰められる想いです。

復興という言葉の裏側では多くの方が、年月の経過による世間の関心の薄れを最も心配しておられます。これは実際に現地を訪れ、被災された方々からお聞きした生の声であります。新年度も私達に出来る支援活動を模索し、形にしてまいりたいと思う所存であります。

挨拶をする十勝組総代会々長 松田正志氏



総代会部では、平成二十九年度の総会・研修会（第二十回）を三月二十九日、帯広別院を会場として開催いたしました。この総会・研修会は、農繁期となる直前の三月下旬に開催しています。しかし参加寺院数も参加者も多いとは言い難く、役員の確保も難しい状況です。組内各寺住職が、自坊のみならず、組や教区における活動の重要性をあらためて認識する必要性があると感じます。

総会では、事業報告・事業計画、収支決算・予算、新役員選出等の審議があり、全て承認されました。研修会では、大樹町・光教寺ご住職・岩崎教之師を講師に迎え、「寺と門徒と総代と住職」という講題でお話しいただきました。岩崎師は法学部出身であり、その知識を生かして、一般的な総代研修ではなかなか聞くことのできない「法」的な視点から、あらためて寺院・住職・門徒、そして総代の位置を確認するという、画期的な内容の講義をいただきました。「宗教法人法」や「本願寺派宗法」、および「寺則」の一例等を紹介し、まとめとして、「門信徒手帳」に記されている「門徒とは、阿弥陀如来によって信心にめぐまれ、念佛の生活にいそしむ人」をいい、「形の上では、寺院備え付けの門徒名簿に登録された方」を門徒と称するということ。さらに、「門徒総代とは、門職が門徒の中から、衆望の集まっている人」として依頼するもので、「門徒を代表して住職を助ける人のこと」であるということ。そして総代は、「自らがまず聞法・伝道によつて、門徒としての姿勢を確立」する必要があり、その上で「住職を補佐して寺門の護持発展に努める」と法規の上でも定められている、などと等、本来あるべき門徒総代の姿を「法」の視点から学び、参加者の同より、門徒総代としての自らの立ち位置が明確になつたと、好評を博した研修会となりました。

平成二十九年度の「北海道教区Cブロック門徒総代研修会」は、九月二十八・二十九の両日、十勝組の主管にて、十勝川温泉・ホテル大平原を会場に開催されました。中尾了信教務所長、両川武弘教区総代会々長、松田正志教区総代会副会長をはじめ、道東各地より各寺の総代・住職方が参集し、参加者は総勢百二十名を数えました。

講師には、東京教区万行寺住職、武藏野大学元教授の本多靜芳師にご出向いただき、「心を育てる」門徒総代としての自覚」と題して2日間にわたりご講演いただきました。

本多師は、仏教における心の捉え方をわかりやすく解説しながら、「心が育つ」というのは、「仏法の道理に目覚めること」であり、その「心を「信心」ということ。そして信心とは、「私とあなたは別の心のちではない」とことを知る「無分別の智慧」であり、そこから「他の者の関係の中で、生かされて生きていることを実感しながら生きる」私に育まれていくならば、教えはおのずと広まっていくのであります。私はこのことを門徒総代として知つていただきたい、という趣旨のお話をいただきました。

今大会の主管はわが十勝組でしたが、松田会長をはじめ、組内スタッフによつて周到に準備されてきたことがよく感じられる充実した大会になりましたと思います。総代会関係者各位にあらためて深く感謝申し上げる次第です。平成三十年度は、釧路組が主管となり釧路市で開催され予定です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



壮年会部活動報告

壮年会部部長 上本周司

研修部活動報告

研修部部長 脇谷暁融

(6)

第36号

十勝組だより

2018(平成30)年4月30日

十勝組仏教壮年会部（以下仏壯）においては、例年どおり四月に平成二十九年度の総会・講演をしました。また、パークゴルフ大会を義教寺仏壯の担当で、幕別町チロットの森にて開催四十七名が参加してくださいり、終了後、フードスタジアムに場所を移して懇親会を開きました。和気あいあいの中友好を深めました。

九月二～三日に仙台市民会館で開催された全国仏教壮年会研修会に宮浦会長ら十一名が参加し、宮城組専能寺足利一之住職の講演を聞かせていただきました。

「震災復興はまだまだ続くし、伝えていくことの大切さを実感しました」との思いを持つて帰られました。

十二月一～二日、ホテル大平原で総代会と合同研修会の打ち合せを忘年会を兼ねて行いました。

年が明けて二月一二～十三日観月苑にて、平成二十九年度十勝組第三回総代会・第三十一回壮年会合同一泊研修会を開催。留萌組・西曉寺藤順生住職に「本願の働きの中で生きる」の講題で、九十名が聞かせていただきました。平成三十年度は、十勝組仏壯においては三十周年を迎えることになり、記念誌を作ることなりました。それに向けて帯広別院や役員宅に何度も集まり、資料集めや写真の整理・校正等、会長はじめ役員には頭が下がるばかりです。普通の集まりとは違い、いつでも南無阿弥陀仏が充满している感じがしました。

本年五月二十一日にホテル大平原において平成三十年度の総会、終了後、三十周年記念式典を開催。記念講演を中札内真光寺桃井直行先生にお願いしました。会員みんなで式典を盛り上げたいと思つております。組長さんはじめ執行部の方々にも色々な面でご協力よろしくお願ひします。



総代会・壮年会合同一泊研修会

二〇一七年度研修部行事報告、なびに来年度に向けての計画をお知らせします。毎年度開催している「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）推進僧侶研修会」を本年度は十月二十四日に開催しました。会場は帯広別院にて、参加者約二十五名が受講しました。

今回は、財団法人・同和教育振興会の理事であり、ご自身も新潟教区の教区会議員であります井上慶永氏を迎え、「御同朋の社会をめざす運動を再考する」をテーマに、これまでの実践運動になつてからの六年にわたる問題と課題をあきらかに示して頂きました。また、堂班・僧班の問題を現在の装束衣体の視点から指摘頂きました。

また、七月七日には二〇一三年度からここ数年にわたり、十勝組第十一期連研開催に向けて様々に学びを進めていく計画の中で、「話し合い法座」の意義について再確認をし、連研ノートEへの理解のために、その願いと内容を深めるために「僧侶研修会（連研部門）」を開催しました。ご講師には上川南組の永江雅邦師にお願いし丁寧に味わいを述べて頂きました。

さらに現在、長年継続している「十勝組テレホン法話」を現在も順次運用中です。テレホン法話の法話順は、別途文書にてご依頼をさせて頂いておりますが、直近一ヶ月前に担当者に直接ハガキにてご案内をさせて頂いている関係で忘備されることなく受けて頂いています。

なお、「十勝組第十期門徒推進員養成連続研修会（連研）」は、未開催のまま既に五年が過ぎました。連研に対する意識は、真宗入門講座的な発想へと変質しつつあります。本来あるべき話し合い法座への開催が熱望されている状況にはないと判断しています。それは組内懸念をしています。



講演中の井上慶永師

結ぶ縁から、広がるご縁へ

婦人会部活動報告

婦人会部部長 鶩岡康照

十勝組の婦人会は、五月十一日帯広別院で総会を開催しました。事業報告・事業計画案・会計決算・会計予算を審議いただきました。今年度は四年に一度の全道仏教婦人大会への対応と懸案であつた一夜研修会の開催時期を変更する事務局案を承認いただきました。

全道仏婦大会は六月二十七日滝川文化センターを会場に専如ご門主ご臨席のもと開催され、十勝組からは師の記念講演、全員参加型の研修「朗読法話」と空知北組が2年をかけて準備されただけあり、今回のテーマ「ささえつつ・ささえられつつ」にふさわしい心に残る大会でした。

七月三日には第六十二回十勝組仏婦大会・第二十七回若婦人研修会を帯広別院で開催し、二百三十名が参加くださいました。ご講師には仏照寺住職藤本実円師をお迎えしました。「子ども若者ご縁づくり受け継ぎ伝えるもの」と題し、ご講師が自坊で長く実践されている、子ども会の活動を通してのご法話をいただきました。

中でも、数年前に子ども会に参加してくれていた子が亡くなられた際に、子ども会の仲間たちが「自分たちで彼の「お葬式」をさせて欲しいと申し出があり、みんなで準備し、お勤めさせてもらつた」との話は胸を打ち、浄土真宗のおみ教えの尊さ、つながりの大切さ、お育ての大切さを感じさせられました。

一夜研修会は時期を変え、

三月二十八～二十九日十勝川観月苑にて豊田靖史師をご講師に開催いたします。他に五つの支部線でそれぞれ支部大会が開催されています。新年度は新役員体制になりますが、より充実した活動を目指し努力してまいりたいと思います。



青少年キッズサンガ部 活動報告

青少年キッズサンガ部部長 皆川隆信

平成二十九年度の青少年キッズサンガ部の一番の大きな活動は、十二月二十四日に行われた十勝組青少年キッズサンガ部研修会でした。

今年度は参加して下さる子供たちが少ないだろうと予想していましたが、例え少人数であっても子供たちのご縁作りであるこの研修会を開催することを決断しました。そして、今回は十勝組から頂いている教化費である部費を使い切るくらいの思いで企画を計画しました。ますやパン屋様と会場である帯広別院様の都合により十二月二十四日となりましたが、この日はクリスマスイブ・・・どれくらいの応募があるのだろうか?と不安に思っていました。しかしながら、蓋を開けてみると四十名以上子供たちの応募がありました。そして親御さんたちの参加も予想以上に多かったので、喜びの悲鳴を上げる結果となりました。青少年キッズサンガ部のスタッフだけでは研修会を開催するのは困難だろうと考え帯広別院様や一味会・七味会の方々に応援を依頼し、快くお手伝いを頂けたお陰により研修会を盛大に終わらすことが出来ました。この場をお借りして、厚く感謝申し上げます。

当日は参加できない方もおられましたが、子供たち四十名、大人三十一名（スタッフを含む）にて研修会が開催されました。午前十時三十分より開会式を行い、終了後ますやパン屋様による手作りピザ作りを全員で体験しました。ピザ生地を作りながらますやパン屋様による楽しい食育のお話があり、作ることや食べることを改めて考えるご縁になったのではないかと思います。また自分で作った焼き立てのピザは一味違うものだったと思います。その後、午後一時よりゲーム大会を行い、一時四十分よりスーパー博覧会・くじ引き・駄菓子・手作りスライムなどの屋台を行いました。この屋台にかなり部費を使ってしまいましたが、子供たちがとても楽しそうだったので良かったと思っています。終了後、閉会式を行い、集合写真を撮って、予定よりも早めに解散しました。とても充実した研修会になったのではないかと思っております。

十年後、二十年後、自分で作ったピザの思い出が、部屋の片隅で転がっているスーパー博覧会が、机の奥で忘れられたスライムが、お寺参りのご縁になることを念じつつ、これからも子供たちのご縁作りである青少年キッズサンガ部研修会を開催していくよう精進していきたいと思います。皆様のご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願ひいたします。



寺族婦人会活動報告

寺族婦人会会長 上本延子

寺族婦人会の総会・新年会を二月一十八日に終え、新年度の事業として春の研修会が四月二十日に帯広別院で開催されました。「法衣の修繕をまなぶ」と題して、慶誠寺法務員の正平勝導氏をご講師に迎え十八名が参加しました。午後は布袍のひもの付け方、縫い方を学び、実際に別布で縫つてみました。午後は修繕したい法衣を各自が持参し、ご講師の指導を仰ぎながら縫いました。坊守同士、法衣の修繕で日頃困っていることを一緒に考え、指導を受け相談しながら、針、糸を使って日常生活の会話も楽しく研修でした。

2018(平成30)年4月30日

十勝組だより

第36号

(9)

春の研修会「法衣の修繕をまなぶ」



十月二十四日の夏の研修会は公開講座に参加させていただきました。立川談吉氏の落語を帯広別院本堂で聞きました。帯広別院で落語は初めてということで、老若男女多くの方が本堂一杯に参加されました。哀悼の意を表します。



法要の後、真光寺副住職の桃井直行氏に阿弥陀経についてご法話をいただきました。

人と比べる自分がいて自分が大事と思う気持ちはなくならない本能です。と話してくださいました、「本当にそうです」とうなずかさせていただきました。

紙芝居もあり楽しく聴きました。

午後は、新泉寺住職 高久教仁氏に毛筆の使い方を学びました。丁寧にご指導していただきました。

以上が活動報告です。役員、幹事さんに支えられ会員みなさまのご協力をいただき、親睦を深める活動ができました。

秋の研修会「毛筆の使い方」





2018年テレホン法話 当番担当表 0155-21-7777

玄誓寺	上本	周司	4月	1日	~	4月15日	壮年会部
仏照寺	藤本	実円	4月	16日	~	4月30日	"
東光寺	豊田	信英	5月	1日	~	5月15日	"
照経寺	鷺岡	佑照	5月	16日	~	5月31日	"
本證寺	平林	祐	6月	1日	~	6月15日	"
照経寺	鷺岡	康照	6月	16日	~	6月30日	婦人会部
法念寺	加藤	淳司	7月	1日	~	7月15日	"
宝照寺	泉	恒樹	7月	16日	~	7月31日	"
玄誓寺	上本	周作	8月	1日	~	8月15日	"
真浄寺	永田	弘彰	8月	16日	~	8月31日	"
真徳寺	松浪	賢誓	9月	1日	~	9月15日	"
太子寺	皆川	隆信	9月	16日	~	9月30日	青少年部
淨信寺	窪寺	貴洋	10月	1日	~	10月15日	"
義教寺	梅原	真依子	10月	16日	~	10月31日	"
南豪寺	竹中	淳記	11月	1日	~	11月15日	"
仏照寺	藤本	与	11月	16日	~	11月30日	"
妙覚寺	脇谷	暁融	12月	1日	~	12月15日	研修部
寿光寺	増山	孝伸	12月	16日	~	12月31日	"
帯広別院	ご輪番		1月	1日	~	1月15日	
誓願寺	頓宮	彰玄	1月	16日	~	1月31日	研修部
光音寺	頼田	光明	2月	1日	~	2月15日	"
俊教寺	椎原	瑞栄	2月	16日	~	2月28日	"
本證寺	平林	暁仁	3月	1日	~	3月15日	広報部
新泉寺	高久	教仁	3月	16日	~	3月31日	"

妙覚寺 欅名暎軒様住職退任
東光寺 豊田信英 様住職継職
光教寺 岩崎教之 様本堂新築
真経寺 賀陽達也 様住職三十年
照円寺 西原信子 様僧籍五十年

玄誓寺 上本周作様 ご結婚
俊教寺 椎原瑞栄様 ご結婚
顯勝寺 芳滝 聰様 ご結婚

御慶壽
報告

東光寺 前住職 豊田 信之様

計報

十勝組だより
第三十六号発行にあたり
震災　水害被害等被災
された方々、今だ
復旧復興するにあたり
多くの時間を要する事と思いま
す　引き続き微力ながら支
援出来ればと思います。

今回も発行が遅れた事
申し訳御座いません。
先に謝罪申し上げます。

法話にて いつも他人事で
済ませてはいけないと
伝えている自身ですが、
まさか？ が
やつてきました！

心筋梗塞で救急車で
運ばれ、今は死ねないぞ
と／＼／あれも これも
やつてない！ そんな事を考
えながら 死を意識

した時、今まで何処かで
命を組末に扱っていた自分に
気づかされました。 気づかされ
ました！ 救われました！

そして 看護士さん大変な職
業だな、病人をいつも見てい
るけど、逆にいつも見られて
る事を知った

とつても怖い職業だなう
つて 僧侶も同じ いつも
見られてる 気を引き締て
命を大切に！

合掌